

## 第2号議案 平成29年度事業計画（案）

長崎においてMICEをビジネスチャンスにつなげていくために、地元事業者によるMICE受入体制を確立するための組織強化及びMICE受入に関する研究・事業者のスキルアップ等を行う。

### 1. 事業内容

- (1) MICE業務に関わる地元事業者のスキルアップを図るための事業
  - ・ 先進事例の研究、他都市との意見交換及び学会等の視察等
- (2) 地元事業者が相互に連携し、MICE業務の受注拡大を創出するための事業
  - ・ 会員間の交流
- (3) 地域に貢献する継続可能なMICE事業を推進するための事業
  - ・ 国際観光コンベンションフォーラム長崎大会の企画、運営等
- (4) 交流拠点施設整備推進の機運を高めるための事業
  - ・ 情報発信

### 2. 部会の設置について

上記4つの事業を行うために、4つの部会を設置する。

(1) MICE業務に関わる地元事業者のスキルアップを図るための事業	研修部会
(2) 地域に貢献する継続可能なMICE事業を推進するための事業	ビジネス交流部会
(3) 地元事業者が相互に連携し、MICE業務の受注拡大を創出するための事業	事業部会
(4) 交流拠点施設整備推進の機運を高めるための事業	広報部会

### 3. 部会の会長及び副会長について

副会長2名及び幹事6名の合計8名を、2名ずつ4つの部会に配置する。

部会名	部会長	副部会長
研修部会	(株)ひろたか 代表取締役社長 廣高 信彦	(株)エルシーブイプロジェクト 代表取締役 川上 博子
ビジネス交流部会	ANAクラウンプラザ長崎グランドヒル フロントオフィスマネージャー 石川 雅朗	(株)岩崎商事 代表取締役 岩崎 誠一
事業部会	(株)マルクスインターナショナル 代表取締役 楠田 壽幸	(有)アクター企画 取締役社長 川下 祐司
広報部会	(株)インテックス 取締役副社長 内田 信吾	長崎電気軌道(株) 経営企画室長 松坂 勲

## 4. 部会の活動事例について

### (1) 研修部会

#### ①視察事業の計画・実施運営

長崎市内や福岡などで計画されているMICE事業の中から、視察したい(視察できる)MICE事業を選定し、実施に向けての計画を策定する。

- ・視察の条件、方法等を主催者と調整し、スケジュールを組み、移動交通を手配
- ・当日の受付、誘導、案内、時間管理等を部会内で対応

#### ②セミナー&グループワークの企画・運営

- ・会場選定及びMICE事業の参考になりそうな講師を招聘しセミナーを開催
- ・セミナー当日の受付、司会、進行、運営、PC操作を部会内で対応
- ・セミナー終了後に実施するグループワークのテーマを設定
- ・グループ分け及び部員を各グループにコーディネーターとして配置
- ・グループワークに必要な設備、備品を準備

### (2) ビジネス交流部会

#### ①MICEマッチングビジネス(会員交流会)の企画・運営

会員企業の業務内容を紹介する機会を創出することにより、会員相互の理解の高まりと、更なるビジネスチャンスの拡大を図る。

- ・日時や会場の選定、調整
- ・プレゼンステージ、展示PR、商談会等の実施方法や参加募集方法を計画
- ・当日の受付、運営、司会、進行、展示施工、PC操作を部会内で対応

#### ②研修後の意見交換会の企画運営

研修部会が主催する研修会や視察の終了後に、講師やネットワーク内の情報交換や親睦を深めるために意見交換会を実施する。

- ・会場、料理、予算の調整、幹事を部会内で対応

### (3) 事業部会

#### ①「国際観光コンベンションフォーラム2018in長崎」の企画立案・実施運営

来年2月に長崎での開催が決定した本大会がより多くの集客と、長崎市民のMICEへの理解促進に繋がるプログラムを提案する。

●開催日時 平成30年2月14日(水)～15日(木)

※16日(金)はランタンフェスティバル初日

●開催場所 長崎ブリックホール(国際会議場及び会議室)

●主催 日本コンベンション研究会

- ・主催事務局との各種事前調整、地元企画に係る主催者の視察受入
- ・本会場、分科会、意見交換会、エクスカージョン、交流会等の運営等全般に係るセクションの責任者を部会内で対応

## ②（仮称）長崎市交流拠点施設を活用したMICEの企画・提案

平成33年11月のオープンを目指し、長崎市が検討を進めている（仮称）長崎市交流拠点施設において、継続して実施できる長崎らしいMICE事業を提案する。

### （4）広報部会

#### ① 活動の記録と議事作成

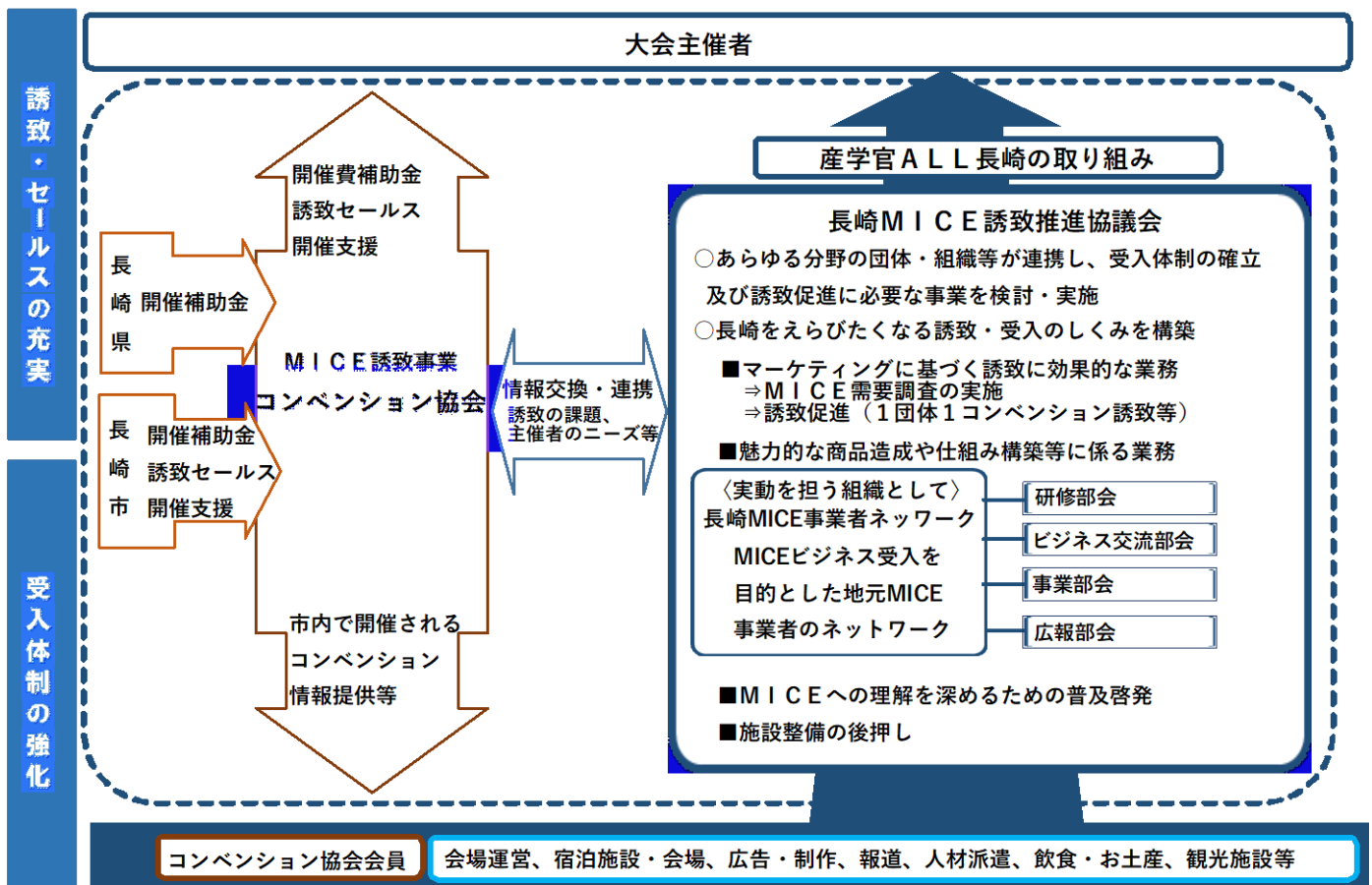
理事会、総会、部会及び実施事業の様子を写真と記録にまとめ、議事を作成し、情報発信と情報の共有化を図る。

また、他都市の事例や（仮称）長崎市交流拠点施設に関する情報収集を情報発信する。

#### ② SNSを使った情報発信

FBなど無料で使えるサイトの中に公式サイトを立ち上げ、情報発信する。また、幹事会や部会ごとのグループを作成し、連絡業務等の効率化等を図る。

## 5. MICE振興に関する体制



## 6. 予算

長崎MICE誘致推進協議会の予算から、活動に伴う共通経費の支援を受け、組織体制の強化を図る、また、会費等による運営についての検討を行う。